中根の町

私の生まれ育ち、遊んだ中根の町は、明治時代までは武蔵野国荏原郡衾（ふすま）村と呼称され、大正・昭和はじめにかけては碑衾村、そしての昭和の中ごろ以降に中根町/大岡山/平町/緑ヶ丘と新しい地名と住居表示と変遷してきました。　私が総称する”中根の町”は東急・東横線や大井町線の都立大学駅・自由が丘駅・緑ヶ丘駅ないしは大岡山駅を概ね三角に結ぶ範囲で、起伏に富む地形で急坂が多く、いまだに緑や四季折々のふぜいが親しめる地域です。

特に中根公園は旧家岡田家屋敷林と旧呑川の痕跡を残す自然豊かな子供たちを中心としたオアシスです。

中根の町の変遷；明治・大正・昭和・現在

衾時代の想像絵と現中根公園の様子を比較

呑川vs地下水流vs古井戸vs湧き水の概略

＊中根公園広場は今でも大雨が降ると雨水の浸透が悪く、

1週間程度、雨庭状態になり、風物です。

SSC

路上探訪：目黒・中根の町の地勢・街並みの変遷

（大正末期から昭和10年ごろに行われた耕地整理で大きく変貌（呑川改修、住宅地化他））

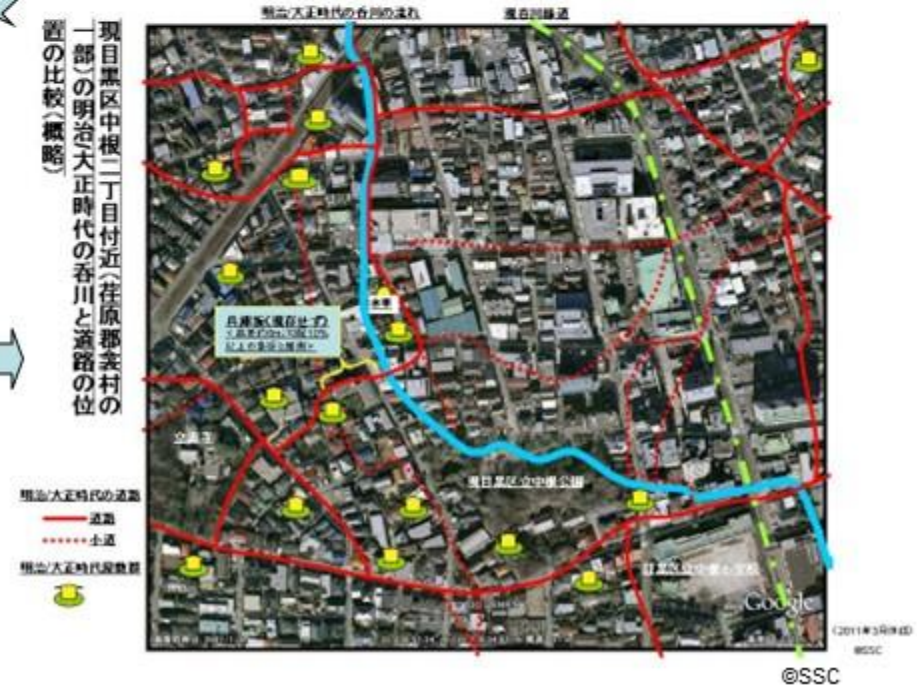


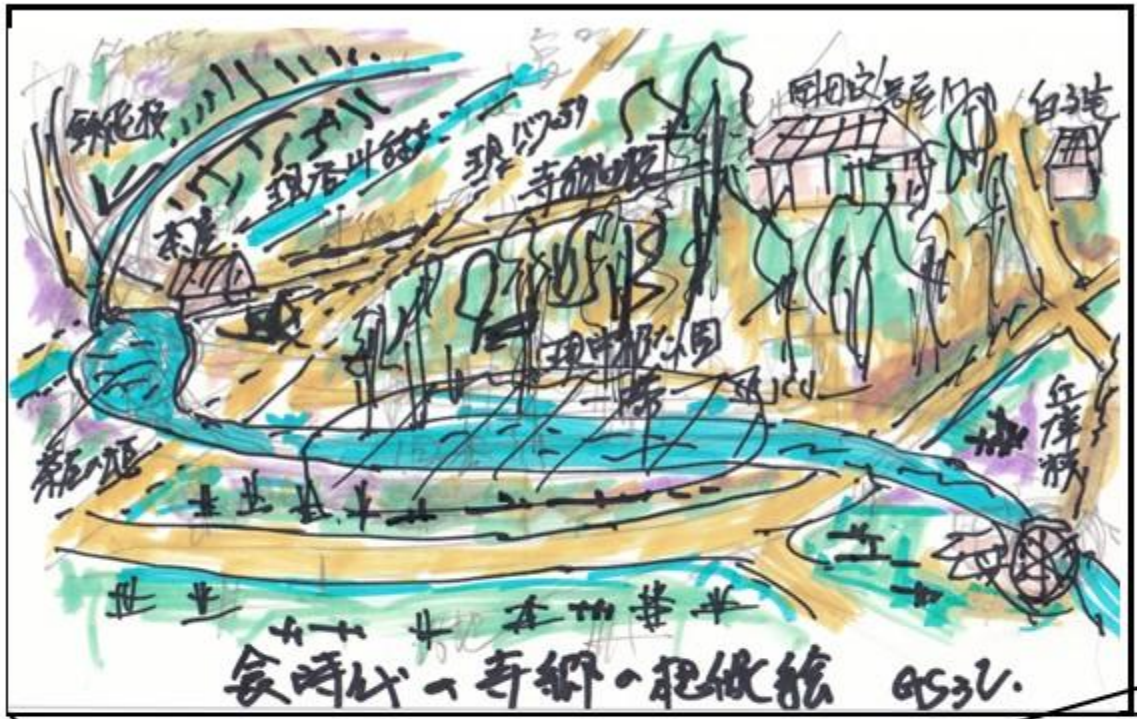
東京府荏原郡「碑文谷」明治42年測圖「大正4年修正測圖」





現目黒区中根二丁目付近（荏原郡衾村の一部）の明治・大正時代の呑川と道路の位置の比較（概略）





衾時代の寺郷の想像絵



中根公園の昭和20年代前半のGSの記憶絵

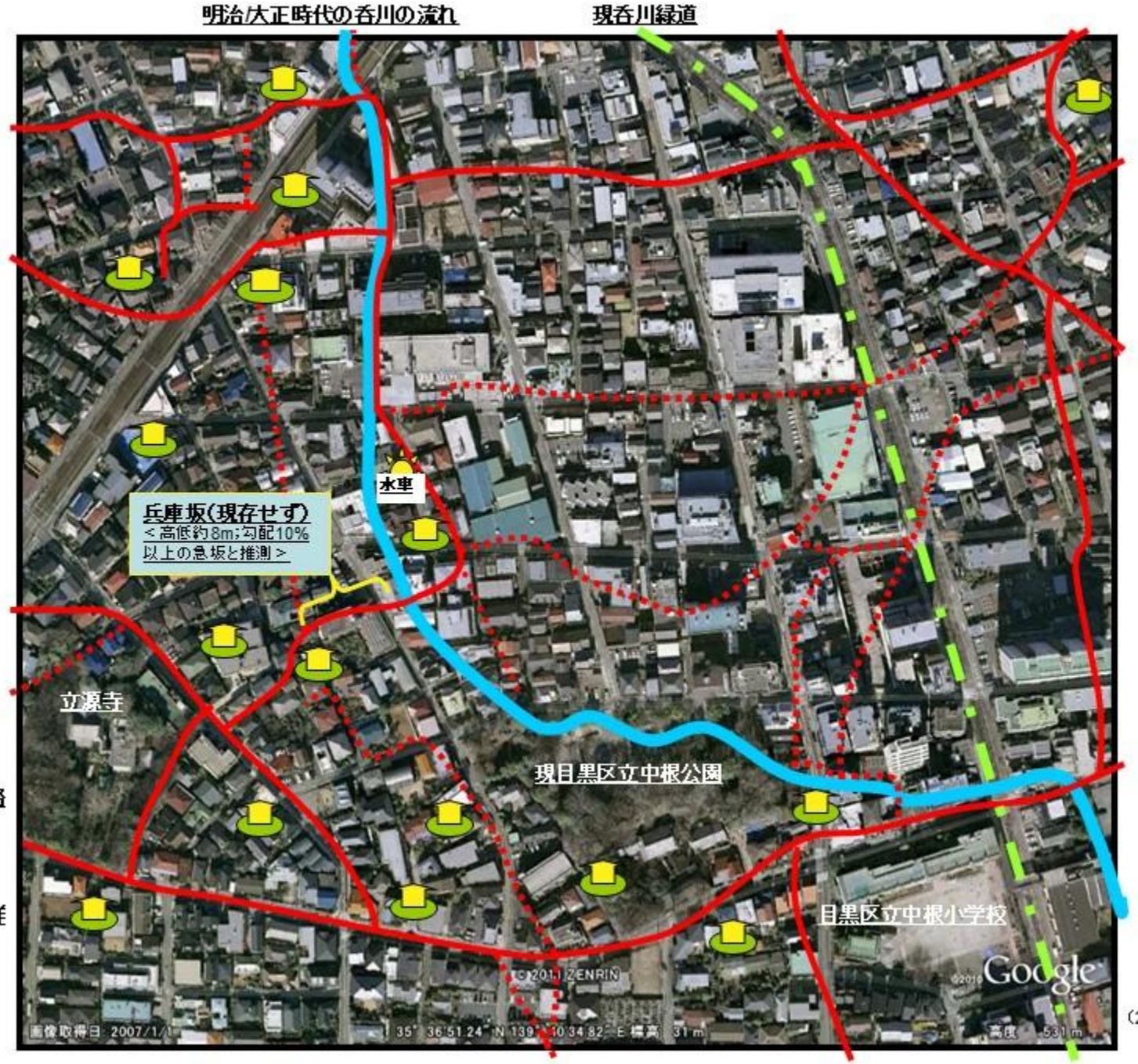


目黒区立中根公園を北門から見る全景

SSC

路上探訪：目黒・中根の町の呑川（今昔）

現目黒区中根二丁目付近（荏原郡衾村の一部）の明治/大正時代の呑川と道路の位置の対比（概略）



明治/大正時代の道路

道路

小道

明治/大正時代屋敷群

（2011年3月作成）

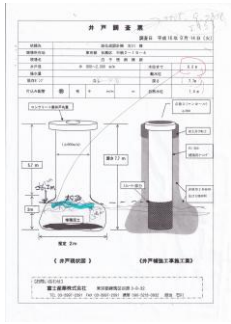
©SSC

中根の町；

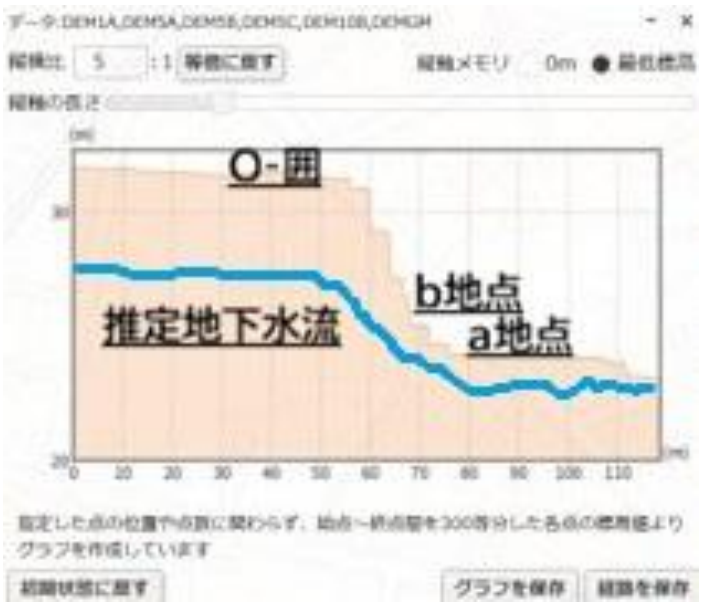
中根公園と地下水流の概略

＊中根公園広場は今でも大雨が降ると雨水の浸透が悪く、1週間程度、雨庭状態になり、風物です。













SSC20261005

中根の町；中根公園付近の地下水流概略図



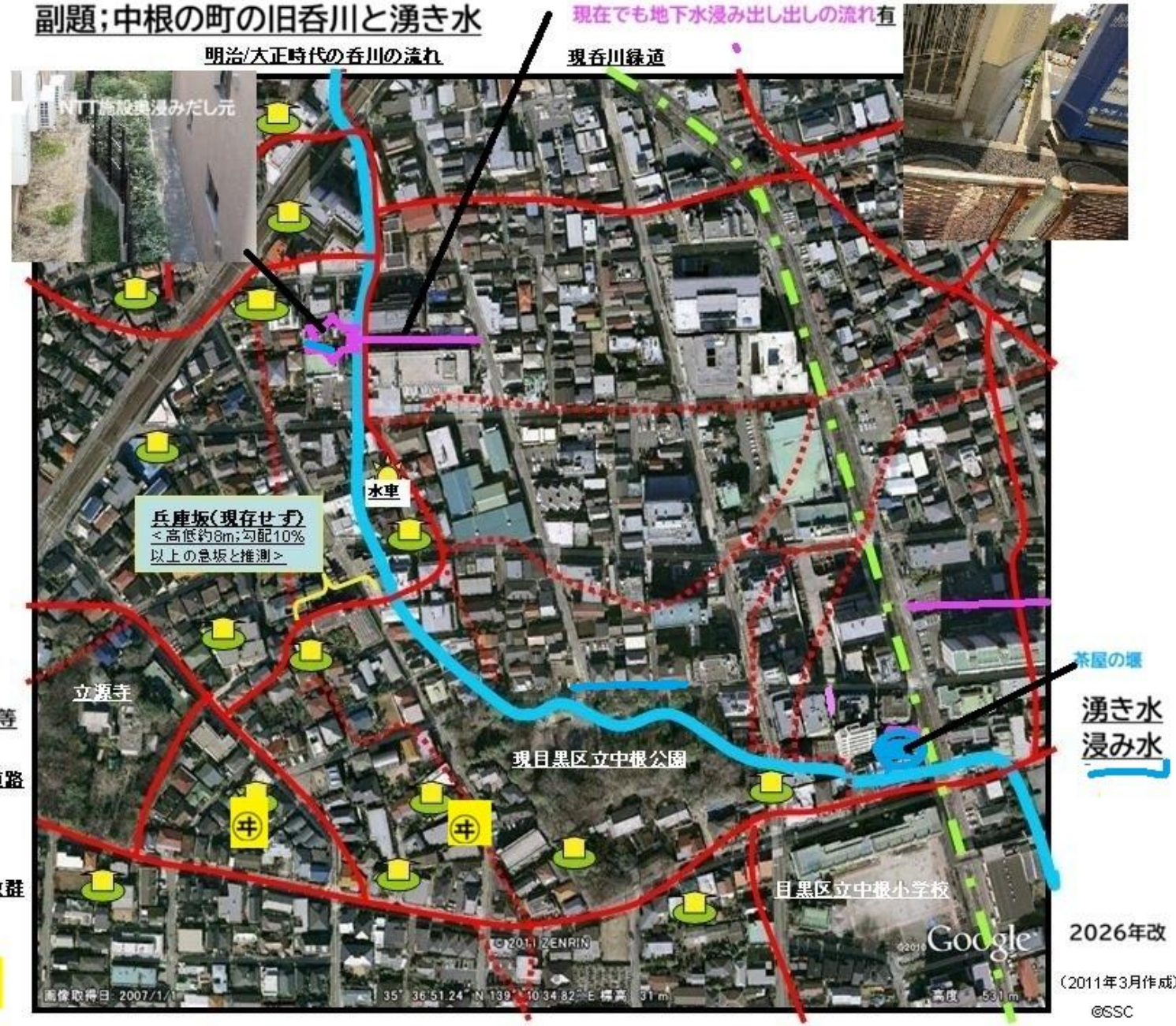


SSC20261006

路上探訪：目黒・中根の町の呑川（今昔）

現目黒区中根二丁目付近（荏原郡衾村の一部）の明治大正時代の呑川と道路の位置の対比（概略）

副題；中根の町の旧呑川と湧き水



旧呑川関連暗渠等

明治/大正時代の道路

道路

小道

明治/大正時代屋敷群

井戸

2026年改

（2011年3月作成）

©SSC